

こんなこと アブナイカモ その1

アブナイカモ



子どもを事故から守る！プロジェクトシンボルキャラクター

保護者の皆様へ **子どもを不慮の事故から守りましょう！**

1～14歳の子どもの死因の上位に「不慮の事故」があります。残念ながら、長年にわたりこの傾向は変わっていません。このような現状を踏まえ、消費者庁では、子どもを不慮の事故から守るため、「子どもを事故から守る！プロジェクト」を推進しています。

シンボルキャラクターの「アブナイカモ」とテーマソングによる親しみやすい啓発活動に加え、子どもの事故に関する情報や豆知識について「子ども安全メール from 消費者庁」を週1回配信しています。また、子どもの事故防止に役立つさまざまな情報について「消費者庁 子どもを事故から守る！ Twitter (@caa_kodomo)」も発信しています。

「子ども安全メール from 消費者庁」についてはこちら→



「子どもを事故から守る！ Twitter」についてはこちら→



花火でのやけどに注意しよう

花火をするときに注意すること

9

- 火を使うので、必ず大人と一緒にやろう。
- 火を使うときは、必ず水の入ったバケツを近くに置こう。
- 花火は絶対に振り回さないようにしよう。
- 打ち上げ花火や噴き出し花火は、途中で火が消えても絶対にのぞき込まないようにしよう。
- 火が移りやすい素材の服や、露出が多いサンダルなどの靴を避けるなど、服装にも注意しよう。
- 花火のパッケージなどに書いてある注意事項を読んで、安全に正しくやろう。

花火でのやけど



公園などの遊具で遊ぶときの事故に注意しよう

10

すべり台からおちる



ブランコでぶつかる



服が首にからまる



公園などの遊具で遊ぶときに注意すること

- 施設や遊具の対象年齢を守って、遊ぼう。
- 遊具ごとの使い方を守って、安全に遊ぼう。
- 遊具で遊んでいるときは、ふざけて他の子どもを突き飛ばしたりしないようにしよう。
- ブランコなど動く遊具で遊ぶときは、人が周囲にいないかよく確認しよう。
- 服のひもなどが首にからまる場合があるので、服装やかばんなどの持ちものに注意しよう。

